

科目名	スピーチ	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済 □必修 ■選択 法律・観光 □必修 ■選択
英文表記	Speech	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	わたひき かおる	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	綿引 かおる	修得単位	2単位
授業のテーマ	話すこと・スピーチの技能向上と、思考力・表現力の向上		
到達目標	自分の考えや意見を、臆せず理路整然と効果的に伝えることができるようになることを目標とします。スピーチ内容について準備し、臨むことから、思考力、表現力などが向上します。他の学生の発表を聴いて様々な考え方や表現方法や価値観があることを実感でき、自己の向上につなげられるとともに互いを認め合うことができるようになります。		
授業概要	自己表現やコミュニケーションに不可欠な「話すこと・スピーチ」の技能向上を図ります。話し方やスピーチに必要な要素、方法などについて学んだ後、実際に会話・スピーチ・ディスカッションを行います。発表はその都度ビデオ撮影し、多角的・客観的に確認して、技能・能力向上につなげます。		
授業計画			
第1回	話してみよう (1分スピーチに挑戦)		
第2回	情報や意見の伝え方 (情報や意見を伝えるために必要な要素を学ぶ)		
第3回	発声・発音 (発声実技)		
第4回	言葉遣い (正しく分かりやすい言葉遣いを学ぶ)		
第5回	表現実習 (与えられたテーマについて表現し伝える)		
第6回	自分の経験に関するスピーチ① (作成)		
第7回	自分の経験に関するスピーチ② (第6回で作成したものを発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)		
第8回	時事問題に関するスピーチ① (作成)		
第9回	時事問題に関するスピーチ② (第8回で作成したものを発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)		
第10回	インタビュー① (話すことと聴くことの実習)		
第11回	インタビュー② (第10回で相手から聴き出した内容をまとめて発表。ビデオ撮影し、発表後に再生)		
第12回	ディスカッション (対話) ① (与えられたテーマについてグループ内で自分の考えを話し合う)		
第13回	ディスカッション (対話) ② (第12回で話し合った結果を発表する)		
第14回	課題スピーチ発表準備 (作成)		
第15回	課題スピーチ発表 (第14回で作成したものを発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	世の中の出来事に関心を持ち、それに関して自分はどう思うかを必ず考えること。身近な事柄でよいので講義時に話(1分スピーチ)ができるように話題を見つけておくこと。		
履修条件 受講のルール	発表や話す機会が毎回あるので、不慣れ・苦手でも構わないので教場で発表することに真摯に臨むこと。		
テキスト	プリントを配布		
参考文献・資料	プリントを配布		
成績評価の方法	第15回の課題スピーチ発表(50%)・第16回の筆記試験(50%) 上記評価項目をもとにして総合的に判断します。 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、		

	<p>試験を受けることができません。</p> <p>出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。</p> <p>授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</p>
オフィスアワー	<p>非常勤のため受講者にはメールなどで対応します。</p> <p>メールアドレスは講義時に伝えます。</p>
成績評価基準	<p>平成28年度（2016）以降入学した学生  秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度（2015）以前に入学した学生  優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	<p>話すことは、学習や経験を積むことでどんどん技能向上します。</p> <p>公的に話す場合はもちろん、普段の生活でも、話す力を身につけておくことは必要です。</p> <p>今の自分のためにも、将来の自分のためにも、積極的に受講してください。</p>